



卒業式 3月1日(金)

第76回卒業式が本校体育館で県教育委員会を始めPTA会長、同窓会長、保護者の御臨席のもと挙行されました。卒業生23名に、鳥飼校長から一人一人に卒業証書を手渡したあと、「卒業証書の背景には、保護者の皆様、地域の方々、同窓生等多くの方々の励ましと見守りがあり、これから自分たちがその立場に立って後輩達を応援して欲しいと願っています。」と語り、さらに校歌のフレーズを引用して「愛と知恵があれば、どんな困難が待ち受けていても乗り越えられるでしょう。」と式辞を締めくくりました。

在校生を代表して小川晃志郎さんが「在校生は、先輩方が築いてこられた山川高校の伝統を受け継ぎ、未来へ紡いでいけるように一致団結して努力いたします。」と送辞を述べました。卒業生を代表して、富松真央さんが、「みんなと過ごした時間は決して欠けてはいけぬ大切な宝物だと思っており、学び多き山高の3年間であり、これから進む道で困難に阻まれても、これまでの経験を胸に進んでいきます。」と答辞を述べました。卒業生には、山川高校で過ごした思い出を胸に、これからの人生の乗り越えていって欲しいと思います。



卒業生答辞

ファッションショー in フラワーパーク

2月17日(土)



生活情報科の3年生4名が、課題研究で作り上げた浴衣やドレスを身にまとい、フラワーパークでファッションショーを行いました。花に囲まれたステージを堂々と歩く姿はとても美しく華やかで、訪れた保護者や一般の方々の目を引いていました。

JR西大山駅おもてなし 12月8日(金)

金融・金銭教育講座 2月5日(月)

JR線で本土最南端に位置する西大山駅でおもてなし活動を行いました。この日は天候にも恵まれ、県内外を始め外国からの観光客も訪れており、生徒手作りのノベルティグッズの配布やお茶のおもてなしをしました。



金融学習の一環として、枕崎で経節の会社経営をされている中原晋司氏を講師に招いて、地域の魅力ある商品の開発や販売の方法について学習しました。

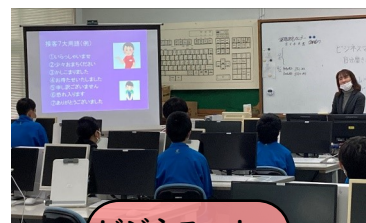


山川中1年生学校訪問 12月18日(月)

山川中学校の1年生総勢70名が本校の学習を体験に来ました。武道館で学校の概要の説明を受けた後、家庭、農業、商業のそれぞれの班に分かれて体験をしました。家庭科の体験では、本校生が中学生にピンクッションの作り方を丁寧に教えていました。商業科では、ビジネスマナーの講義を受けました。農業では、野菜の収穫と農業機械の操作を体験してもらい、中学生にとって貴重な体験ができました。



農業機械



ビジネスマナー



ピンクッション

修学旅行 12月5日(火)～12月8日(金)

2年生は3泊4日の関東方面への修学旅行に行きました。みんな楽しみにしており、いつもならギリギリの時間に登校してくる生徒達も、この日ばかりは早朝にもかかわらず集合時間前には、全員揃い少しばかり予定を早めて出発できました。初日は、バスと飛行機を乗り継ぎ一路東京を目指しました。飛行機搭乗が初体験の生徒もいて少し緊張した様子でした。この日は、江ノ島海岸に行き水族館見学や海岸散策をした後、両国のホテルで1泊目を過ごしました。

2日目は、東京の自主研修でした。この日のために事前に東京の下調べをして、どこに行くか細かく計画を立ててきました。生徒達はそれぞれ班に分かれて、渋谷や秋葉原、新宿など東京の街並を見学することができました。移動では、日頃体験できない地下鉄などの多様な交通機関を活用して自主研修を終わらせることが出来ました。

3日目は、東京ディズニーシーでの研修でした。生徒達は、たくさんのアトラクションを一日中楽しみ、夜のパレードまで満喫し、両手にたくさんのお土産を持ってホテルに帰ってきました。

4日目は、浅草周辺を散策しました。仲店通りを歩き浅草寺でお参りをして鹿児島に帰ってきました。旅行期間中は体調を崩すことなく全員元気で過ごすことが出来ました。



スメ体験 12月26日(火)

鰻池湖畔でスメ体験を実施しました。この日は2部構成で、午前中はたいせい児童クラブの皆さんと保育交流会の中で行い、午後からは、一般の方とのスメ体験を行いました。学校からは、新鮮な野菜と地元産の卵等を持参し、スメ調理を行いました。併せて鰻池湖畔でのスタンプラリーや西郷どんのレプリカシャツの試着体験を実施しました。



営農の門出を祝う会 1月30日(火)

今年度卒業する3年生で農業関連への就職や進学をする生徒を励ます目的でJAいぶすき組合長をはじめ指宿市や南九州市の農政関係者10名の来賓を迎え行いました。生徒がそれぞれ自分の抱負を宣言した後、参加者全員でお茶の乾杯で新たな門出を祝いました。



農業高度化研修 1月16日(火)



6名の外部講師を招いて、「魅力ある農業六次産業化、SDGsの観点からの商品開発やマーケティング」について、トーク方式のパネルディスカッションを行いました。初めての取組で生徒達は興味深く講師の方の話を聞いていました。